

THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A.
THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21

KOFU21
Chartered 1990
甲府 21 ワイズメンズクラブ

編集長 野々垣和宏

2025 年 04 月 01 日 (火) 発行



〒400-0032 山梨県甲府市中央 3 丁目 10-7
山梨 Y M C A グローバルコミュニティセンター
☎055-235-8543 fax055-235-8553
Mail kofu21@googlegroups.com

国際会長	A・シャナヴァスカーン(インド) 「より良い世界のために、共に」 (Together for a Better World)
アジア太平洋地域会長	ジョウン・ウォン(香港) 「大きなインパクトを起こそう」(Make a Great Impact)
東日本区理事	山田公平 (宇都宮) 「ワイズの方向性を見極める」(Our Future Direction)
あずさ部部长	ピーター・マウントフォード(甲府) 「めあて 望み」
甲府 21 クラブ会長	興水順雄 「未来のために行動しよう」(Let's act for future!)

甲府 21 ワイズメンズクラブ
2025 年 4 月会報

今月の強調テーマ

W4W、RBM

今月の
聖句

使徒言行録 1 3 章 3 3 節

神はイエスを復活させて、わたしたち子孫のためにその約束を果たしてくださったのです。それは詩編の第二編にも「あなたはわたしの子、わたしは今日あなたを生んだ」と書いてあります。お祈りです。

鈴木美穂子

4 月 巻頭言

甲府 21 クラブ会長 興水 順雄



<我が家の庭に顔を出したフキノトウ>

寒さも緩んで来て、いよいよ春の到来です。我が家の庭にもフキノトウが顔を出しました。この季節ならではの味覚を堪能しました。このブリテン発行の頃には桜も咲き、春真っ盛りだと思います。

新年度に入り、大人も子供も新たな始まりにワクワクドキドキする季節です。就職、入学・進学、転職・異動などなど。一方では早く終わって欲しいこともたくさんあります。イスラエルのガザへの侵攻、ロシアのウクライナ侵攻などの紛争です。日々失われていく命に、私たちのできることは何なのかと考えさせられます。両方と

も核兵器を持つ国が関係していることは偶然でしょうか。早期の停戦・紛争解決を願うばかりです。

この季節は皆さんも旅行、グルメ、スポーツにと出歩く機会が多くなると思います。またワイズのイベントも多くなります。先月 21 日には山梨 YMCA のリンゴの木とキラキラの子どもたちと、境川でジャガイモの植付を行いました。穏やかな天気の中、子どもたちと一緒に自然と触れ合う良い時間を持つことができました。きっと素晴らしいジャガイモが沢山出来ると思います。

4 月 19 日には恒例の第 7 回ベビーカーコンサートがあります。同日に富士五湖クラブの第 14 回障がい者フライングディスク大会、また W4W の清掃活動も予定されています。5 月 10 日には富士五湖クラブがホストの第 3 回あずさ部評議会、5 月 24 日には第 27 回山梨 YMCA チャリティーラン、6 月 7 日には宇都宮での第 28 回東日本区大会と続いて行きます。イベントは参加者が多いほど、開催の意義が高まると共に交流も深まります。皆さんのご参加をぜひお願いします。

<例会プログラムは P 2 >

4 月第 1 例会プログラム

2025 年 4 月 1 日 (火) 18:30 ~

会場: 山梨 YMCA 3 階

大澤英二記念ホール「ベテル」

司会 鈴木美穂子ワイズ

興水順雄会長

1. 開会点鐘
2. ワイズソング・ワイズの信条
(奏楽) 杉田博子ワイズ
3. 今月の聖句 鈴木美穂子ワイズ
4. 会員一言 野々垣健五ワイズ
5. 会長挨拶、ゲスト紹介 興水順雄会長
6. ハッピーバースデー
7. ワイズディナー
8. 会員卓話 武井教子ワイズ
9. YMCA 報告・諸報告
10. YMCA の歌
11. 閉会点鐘 興水順雄会長

2025 年 3 月第 1 例会報告

書記 荻野清

3 月 1 日の第 1 例会が、降雪予想で 3 月 18 日へ延期し、おこなわれた。

興水会長から、3 月中旬以降 6 月までの密度の濃いスケジュール内容の説明があった。特に 4 月 19 日はクラブのメイン催事の一つの『ベビーカーコンサート』や世界規模の『4W4 ゴミ・廃棄物の週』があり、さらに富士五湖クラブ主催の『障がい者フライングディスク大会』という二つの主要催事が重なり、二班体制で臨もうという、ビッグクラブならではの実行、という考えを示された。

今回は会員卓話を見送り、密度の濃い 3 月中旬以降の諸報告があった。まず CS/Y サ委員長の佐藤重良ワイズから『4W4 ワールドクリーンアッププロジェクト』等を、野々垣健五ワイズから山梨 YMCA 人形劇鑑賞会への支援を、『ベビーカーコンサート』を寺田ワイズより進捗状況と共に、そして杉田ワイズ

ズから『山田耕筰作品を辿る Vol.5』の案内があった。また、末木ワイズから『ロシア・ウクライナ戦争と日本の安全保障』と題した、小泉悠氏（東京大学先端科学技術センター専任講師）の講演会への誘いがあった。

その他、飛び入りで清水ワイズの友人である、大月市在住のシンガーソングライターの“しらいみちよ”さんから、能登支援の御礼と今後の支援へのお願いがあった。

6 月開催の東日本区大会と 8 月開催のアジア太平洋地域大会の申し込みに関して、再度の誘いを行う中、会長の閉会点鐘にて散会となった。

《4 月の誕生者》 Happy Birthday!

(メン)

荻原 桂子 (4/1)

武井 教子 (4/17)

(メネット)

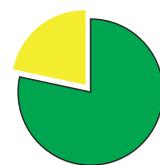
赤池 喜美子 (3/31)

浅川 久子 (4/29)

[敬称略]



<3 月例会出席者>



77.8%

会員数	45名
第一例会出席者	30名
メイキャップ	5名
メネット	0名
総出席者数	35名
出席率(会員のみ)	77.8%

今後の予定

4月1日(火)

第1例会 18時半

4月9日(水) 午後1時集合 1時半~

W4W プランター花植&園庭清掃

4月15日(火)

第2例会 18時半

4月19日(土曜日)

ベビーカーコンサート

開場 午前10時半 開演 午前11時(約50分)

会場 山梨YMCAグローバルコミュニティセンター3階

大澤英二記念ホール ベテル



福田奈理子さんありがとう！！

寺田 喜長

日 時 : 2025 年 3 月 15 日 (土曜日)

11:00 ~ 13:30

開催場所 : 山梨 YMCA 3 階 大澤英二記念ホール “ベテル”



福田奈理子さんありがとう！

山梨 YMCA 生涯学習事業部ディレクター福田奈理子さんが「トラバーユ」？されるにあたり県内ワイズ仲間にて送別の「追い出しコンパ」をと有志にて提案、声掛けをさせていたところ県内 4 クラブの多くのワイズメンに賛同いただき 2025 年 3 月 15 日、11 時より山梨 YMCA 3 階大澤英二記念ホール ベテルにて開催いたしました。福田さん所属の八ヶ岳教会山本譲牧師による「旅立つとき」との奨励を頂き、杉田博子ワイズの賛美の歌唱にて第一部礼拝を守り、記念写真撮影後、送別・激励の時を持ち各クラブから激励の言葉、送る言葉が述べられ、旅立ちの言葉として福田さんが胸の内を話されました。思い出にと皆様の会費にて購入しました記念品、花束をお送りしました。そして和やかなに昼食を食しながら団欒の時を持ち、富士五湖クラブの尾崎ワイズご夫婦の「送り出す演奏」を拝聴、福田さんも演奏に加わり担当主事としワイズメンズクラブと深い交わりをされていた様子が伺えました。最後は送り出しトンネルにて旅立ちを応援。参加くださいました山梨 YMCA 関係者にも感謝申し上げます。



2025.3.28 山梨 YMCA サステナキャンピングにて

美味しく育てね！ (ジャガイモ植付)

佐藤 重良



山梨 YMCA キラキラ教室とジャガイモの植付けを実施！

場所 境川 沼田農場 (笛吹市 境川共選所前)

日時 2025 年 3 月 21 日 金曜日

10 時集合 作業 10:45~11:30

参加者

○山梨 YMCA の子供たち 9 名 (リンゴの木・南西教室・本館教室) スタッフ 6 名

○甲府 21 ワイズ 輿水会長・飯田・佐藤重・佐藤利・寺田・荻野・平田 & 会社から 1 名 支援・浅川ワイズ会社から 1 名 9 名

○沼田会長さんにはご指導頂く 合計 25 名

10 時集合・子供たちは 10 時 30 分集合

春風が心地よく、梅の香りがする畑で、本年もキラキラ教室と一緒に ジャガイモを植えました。まずは朝礼にて、植え付けの説明をしてから作業開始です。あらかじめ沼田さんが畑の整地・畝造り・堆肥を施肥してくださっていたところに植え付けです。内容はメークイン 40 玉・男爵 40 玉。種芋の間かく〜50 cm 離して植えていきます。そして芋と芋との間に「化成肥料」を播きました。子供たちは、熱心にしっかりと植え付けてくれました。今後は、芽カキと雑草取りをしっかりしなければなりません。今後の作業へもご協力をよろしくお願いいたします。子どもたちの野外勉強に少しお手伝いさせていただきました。7 月初めの子供達との収穫が楽しみです。沼田さんには大変お世話になりましたこと、感謝申し上げます。

WEEK 4 WASTE

東日本区 CS・Y サ事業委員会

W4W (Week for Waste) は、2021 年から世界中のワイズメンズクラブが参加し毎年 4 月に実施されているもので、今年も 4 月 14 ~ 20 日の 1 週間が予定されています。各クラブ 2, 3 月の例会で相談の上、クラブ単位でも個人でも町のごみ拾いを実施して参加してください。例会時また各種の行事に合わせて実施してください。

▼甲府 21 では、野の花保育園北面の整備、草取りや、清掃とプランターへの花植を行います。例年はベビーカーコンサートの後で行っていましたが、フライングディスク大会と重なっているため、前倒し単独実施となります。

日時：2025 年 4 月 9 日 (水)

集合：13 時 00 分 開始：13 時 30 分

場所：山梨 YMCA 野の花保育園園庭

(CS・Yサ佐藤)

第 7 回

ベビーカーコンサート

in 甲府

このコンサートは、ベビーカーに乗った 0 歳からのお子さま、子育て中のママ、パパ、保育園児、小学生 障がいのある方、おじいちゃん、おばあちゃん。どなたでも OK です。会場内で、小さなお子さまが泣いたりすることもあります。ご理解の上お申込みください。

70 名 限定

2025 年 4 月 19 日 (土)

- 会場 山梨 YMCA 3 階 大澤英二記念ホール ベテル
- ベビーカーのまま OK
- 開場 10:30 ●開演 11:00 *演奏時間 約 50 分
- 入場無料 (要予約) ●駐車場有り ●おむつ替え・授乳室あり
- 演奏 音楽アンサンブル パルフェ

Parfait
~ パルフェ ~

パルフェは、フルート 植田理恵、ピアノ 藤本美香、キーボード 大原美穂の 3 人で活動している音楽アンサンブルです。音楽を通してやさしい時間を多くの方にすすめていただきたいと願い、保育園・小学校・養護施設・地域のイベント等でコンサート活動をしています



主催：甲府 21 ワイズメンズクラブ
協力：山梨 YMCA
お申込は：<http://kofu21.com/baby2025spring/>
お問合せは：maruki-yoshinaga13@outlook.jp
携帯 090-6945-3194 (寺田) まで



お申込はこちら

「日本での百年」を辿って

カナダ・メソジストの歩み [明治・大正編]
グウェン・R. P. ノルマン 著
後藤哲夫 訳
One Hundred Years In Japan, Part I: 1873-1923

後藤 哲夫

第 15 回 影を覆う光

「わたしは、こう祈ります。知る力と見抜く力を身につけて、あなたがたの愛がますます豊かになり、本当に重要なことを見分けられるように。」
(フィリッピの信徒への手紙 1 : 9)

1905 (明治 38) 年、日露戦争に勝利した日本は、これで大国の仲間入りができたと有頂天になった。翌年南満州鉄道会社を設立。さらにその後 1910 年日韓併合を締結した。1914 年、第 1 次世界大戦ではドイツに宣戦布告して漁夫の利を得、また翌年、中国には屈辱的「対華 21 ヶ条」を要求するなど、帝国主義への歩みを始めた。

このような時代背景の中で、1907 年メソジスト 3 派は合同して「日本メソジスト教会 (JMC)」を形成した。伝道の気運は大いに高まり、国内のみならず韓国、中国にも宣教師や日本人伝道者が派遣された。以下は 1917 年、ベーツ宣教師が韓国を訪れた際の報告である。

韓国は政治的混乱の中にあり、日本はそれに秩序を与えている。韓国には高速道路も鉄道もないのに、日本は鋼鉄の帯で韓国の北から南、東から西を結びつけている。教育もない所に学校制度を計画し、一世代でかの国民を文盲から文字の読み書きまでできるようにしている。役人たちにおびえている国民に公平な法制度を与えた。

残念なことだ

韓国がその政治的独立を失ったことは。しかしそれを中国やロシアに失ったよりも日本に失ったことは良かったと言えるだろう。

ベーツは一九一七年朝鮮を訪問した後で、日本が慈悲に富んだ統治をしていると、興奮した報告を述べている。

日本が今朝鮮で人々のために行なっていることは驚嘆といってもよいものです。日本人は朝鮮人に代わって最も有効に国を治めています。日本人の間でのクリスチャンの活動は、日本の発展と歩調を合わせるということが最重要なのです。



Bate Comelins

これらの感想は、ベーツのように優れた宣教師のみならず、他の宣教師たちも抱いた見解でもあった。いかに当時の朝鮮の人々の思いに盲目で、鈍感であったかをうかがわせる内容である。一方、宣教師らの最大の関心事はインフレであった。第一次大戦後に生

じたインフレは多くの貧しい人々を生み出し、いたる所で惨事が起きた。宣教師たちを中心に救済活動、福祉事業が展開された。

ところで、日本が植民地主義、帝国主義の道を歩み始めたとき、教会はなぜそれにノーを言えなかったのか。日本メソジスト教会にはその憲法である、「日本メソジスト教会教義及び条例」というものがある。その第 16 条に「政府に対する義務のこと」として次の文言が記されている。(少々改稿)

「我らは聖書の教える所により、すべて有る所の権は、皆神の立て給う所なるを信じ、日本帝国に君臨し給う万世一系の天皇を奉戴し、国憲を重んじ、国法に遵う」

この箇所を読んだとき、私は大変驚いた。これがキリスト教徒の言動を呪縛したのではなかったかと思った。「私のほかに何者をも神とするな

かれ！」これが聖書の十戒の教えである。神と天皇を両立させて、詭弁を弄してきたのが過去の大部分の教会であった。

ここには「国家と宗教」「ナショナリズムと愛国心」という大きな問題が横たわっているがここでは、論じない。真偽のほどはわからないが、最近、ロシア正教会キリル大主教に、ローマ法王が「プーチンの侍者」となるな、と叱責したとか。我が意を得たり、であった。

今回は宣教師たちの情報不足と限界を問題にしたが、彼らの教育、社会福祉などにおいて果たした重要な働きから、まだまだ学ぶべきことは多いと考える。

<ブリテン委員長野々垣和宏です>

今朝の新聞 俳壇に

「老農の麦論すごと踏みゆけり」

という句が掲載されていました。一粒の麦という聖句があるように、麦はキリスト者にとっては召命の象徴。踏まれる試練を与えているのが老体というよろしさよ、と選者はコメントしています。

国家、宗教、ナショナリズム、パトリオティズム。ともすれば目をつぶり、耳をふさいでしまうような問題も深く考えなさい、先達が歩んできたように、という今回のコラムは、まさに麦踏みでした。いえいえ、後藤先生を老農と申しているのではありません。踏んでもらって、5月には、麦秋が訪れるのですから。

会計報告

会計 赤根 学

[会計報告]

2025 年 3 月末現在

赤根

項目	ニコニコ	バザー	クリスマス	トータル
目標値	250,000	100,000	50,000	400,000
3月の合計	21,000	0	0	21,000
3月末迄累計	126,217	550,000	42,750	718,967
達成率	50.4%	550.0%	85.5%	179.7%

私の戦争体験 No.4



私の戦争体験
～青空教室～

鎌田 巖

戦火で甲府市内はあたり一面 ‘焼け野原’ と化したのでありました。そこから “衣食住” 全てを失った生活が始まりました。食べ物、着るもの、住む家、勿論、眠る場所もトイレもない、使用する紙もない。皆さんならばどうされますか？



▷甲府・琢美学校（現・甲府市立善誘館小学校）

昭和 20 年 7 月 7 日早朝から甲府市民は焼け野原での生活が始まりました。

私は一番大変な時期、すなわち空襲の翌日から母の実家の葦崎で一年間生活をし、昭和 22 年に甲府に帰ってきました。

祖父母は焼野原の何もない自宅跡で生活を始めました。

生活は、家は戦火で焼け残った材木、トタン板を集めそれ等を組み合わせて雨風を防ぐバラックを建てました。食べ物、衣類は防空壕で残った物を持ち寄りそれらを分け合い隣近所で協力し毎日を過ごしたのです。

学校は昭和 20 年 7 月 21 日富士川学校を間借りして再開しました。それも 1 年間で、その後は焼け跡の何もない琢美学校で授業が行われたのです。いわゆる‘青空教室’です。野外授業なので天気には関係なく行われました。天気の日には暑い日差しの中、雨の日には傘をさし、また焼け残ったお寺の軒先で授業をいたしました。毎日がこのような事では飽きるのでは、時には弁当持参で裏の愛宕山に登りそこで授業？が行われました。山に自生しているノビル、タンポポ、イタドリ、アケビなど野草を採取し、その説明を受け、後はそれらを持ち帰り食材の足しにしたのです。

日常生活は GHQ の管理下におかれまして。
 統制：全てが統制、許可が必要で米の配給は勿論米穀通帳が必要でした。家の建築資材の運搬も許可が必要でした。
 学校：旧制度から新制度へ 6334 制度、(小中は義務教育、高校、大学の高等教育)
 ‘青空教室’を経て、昭和 22 年頃から校舎が再建され、授業が再開しました。
 運動場：戦争被害者の仮設住宅で埋め尽くされて使用不可能、使用が開始されたのは昭和 24 年から
 教科書：旧教科書の塗りつぶしたのを使用した。
 DDT：DDT で寄生虫の駆除をおこなった。
 給食：給食が始まりましたが、松ヤニの匂いがしました。(松ヤニ、パンの入れ物に付着) コッペパンと脱脂粉乳のみの給食でした。



2021 年 3 月ある日の給食 (甲府市)
 こどもパン、マカロニグラタン、はなやさいサラダ
 ジュリアンヌスープ、いよかんゼリー

ペンリレー

「日本の伝統文化に思うこと」

清水 公一



パンデミックとなったコロナも落ち着き、私が仕事としているイベント業界も活気が戻ってきました。一昨年より県内外問わず様々な展覧会に係らせていただきました。そんな中、ふと興味を抱いた事を紹介させていただきます。

私は、年に 4 回ほど「山梨県華道協会」様の展覧会に於いて、会場作りをお手伝いさせて頂いております。展覧会では、各流派の先生方の個性あふれる美しく見事な作品が展示されます。

そこで思った事ですが、華道と生け花にはどんな違いがあるのか調べてみました。

華道＝花を通じて自然の美や精神性を表現する芸術、伝統や哲学を重んじ、特定の技法や流派に基づいて花を生ける。

生け花＝より自由なスタイルで日常生活に彩りを加える実用的なアート、個々の創造性を尊重し、即興的な自由さを追求する。

つまり、技術やスタイルを共有しながらも華道は、より芸術的で哲学的な側面を強調しています。なるほどと思いました！

(前ページより続く)

また先日、日本の良き文化、伝統工芸などについて語る講演会に参加する機会があり、学んだ事ですが、昔から日本には独特の調和を大切にす文化が根付いており、気遣いや礼儀が重視され挨拶や感謝の言葉が大切にされています。

日本の伝統文化でも先ほどの華道や茶道、歌舞伎など、伝統工芸では和紙、陶磁器、漆器など職人の技と精神が込められたものが地域ごと多く存在しています。

中でも漆器で有名な石川県の輪島塗は 124 の工程があり、使えば使うほど艶が出て耐久性は 5,000 年とも言われていて器の底や継ぎ目には布が使われたりする「布着せ」があり補強の技と工夫が素晴らしいと思いました。

私は、23 年夏に輪島を訪ねていたので昨年 1 月 1 日の地震で燃え盛る朝市の街並みを見て大きなショックを受けました。輪島の伝統文化もこのような震災で途絶えて欲しくないと心から思いました。被災地の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今では、TV 企画の中に日本の伝統文化、伝統工芸、食文化に憧れる外国人を日本に招待しその文化を体験させ学び応援する番組があり視聴率も高いようです。

円安の影響もありインバウンドで日本を訪れる外国人が多く来日しています。

観光の目的は、今までのような爆買いではなく日本の良き文化に触れ体感して楽しむ事を目的に日本を訪れる外国人が急増しています。

そのことは日本人として誇りであり嬉しいことでもあります。

私もまだまだ知らない日本の良き伝統文化、伝統工芸がありますが、これからも世界から注目される日本で有って欲しいと思いました。

◆YMCA 便り◆

「大地とつながる桜色の輪」

総主事 中田 純子

春の訪れを告げる桜。その淡いピンク色は、私たちに新年度の始まりを知らせ、心を豊かにしてくれます。この桜色を眺めていると、2 月に山梨 YMCA で取り組んだ「ピンクシャツデー」の活動が自然と心に浮かびます。まるで桜が、このいじめ防止運動に賛同し、応援してくれているかのようです。

桜は短い命の中で、満開の美しさを私たちに見せてくれます。その姿は、日々を大切に生きることの尊さを教えてくれます。同じように、「ピンクシャツデー」は私たちに「思いやり」や「つながり」の大切さを伝えていています。今年も山梨 YMCA では、「ピンクシャツウィーク」を展開し、子どもたちが甲府市役所を訪問して市長へ「いじめのない世界」を願うメッセージを届けました。その後、手作りのプラカードや横断幕を掲げて商店街をパレードし、多くの方々にいじめ防止への思いを発信しました。この活動は、子どもたち自身が声を上げる勇気や多様性への理解を深める貴重な機会となりました。

山梨 YMCA では、「YMCA for All」の理念のもと、年齢や国籍、性別、障がいの有無を問わず、すべての人々が輝ける社会づくりを目指しています。一人ひとりが持つ個性や可能性が桜の花のように咲き誇る社会。その実現に向けて、この春も地域社会とともに歩んでまいります。また、ワイズメンズクラブとの協力を通じて奉仕活動を推進し、人々が互いに理解し合い支え合う温かなコミュニティづくりを目指します。

新年度が始まるこの 4 月。桜のピンク色に包まれながら、一歩ずつ前進し、新しい挑戦と出会いを楽しんでいきましょう。そして、この春の日々が、「ピンクシャツデー」で感じた「思いやり」や「つながり」をさらに深める機会となることを希望します。

どうぞ素晴らしい春の日々をお過ごしください。